



2020年10月8日

各 位

会社名 株式会社 日本触媒  
代表者名 代表取締役社長 五嶋 祐治朗  
(コード番号 4114 東証第1部)  
問合せ先 総務部長 田畑 敦士  
(TEL 06-6223-9111)

## 2021年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年8月4日に公表いたしました2021年3月期第2四半期累計業績予想及び2021年3月期通期業績予想を以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 連結業績予想の修正について

2021年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年8月4日時点)	130,000	1,500	3,000	1,500	37.62
今回発表予想(B)	124,000	△1,800	△500	△1,500	△37.62
増減額(B-A)	△6,000	△3,300	△3,500	△3,000	
増減率(%)	△4.6%	—	—	—	
(ご参考)前第2四半期実績値 (2020年3月期第2四半期)	153,292	6,638	8,673	5,731	143.71

2021年3月期 通期連結業績予想値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年8月4日時点)	270,000	7,000	10,000	6,000	150.46
今回発表予想(B)	260,000	1,000	3,500	1,000	25.08
増減額(B-A)	△10,000	△6,000	△6,500	△5,000	
増減率(%)	△3.7%	△85.7%	△65.0%	△83.3%	
(ご参考)前期実績値 (2020年3月期)	302,150	13,178	15,748	11,094	278.21

## 2. 個別業績予想の修正について

2021年3月期 第2四半期(累計)個別業績予想値(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年8月4日時点)	85,000	500	3,500	3,000	75.23
今回発表予想(B)	82,000	△400	2,700	2,500	62.69
増減額(B-A)	△3,000	△900	△800	△500	
増減率(%)	△3.5%	—	△22.9%	△16.7%	
(ご参考)前第2四半期実績値 (2020年3月期第2四半期)	102,469	5,032	11,388	9,136	229.11

2021年3月期 通期個別業績予想値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年8月4日時点)	180,000	6,000	10,500	8,000	200.62
今回発表予想(B)	175,000	2,000	6,600	4,000	100.31
増減額(B-A)	△5,000	△4,000	△3,900	△4,000	
増減率(%)	△2.8%	△66.7%	△37.1%	△50.0%	
(ご参考)前期実績値 (2020年3月期)	204,690	10,178	18,677	14,776	370.54

## 3. 連結・個別業績予想修正の理由

2021年3月期第2四半期累計連結業績予想に関して、第2四半期会計期間において、自動車産業や建築・建材向け製品は需要回復が進まず、工業用界面活性剤向け製品は需要が落ち込みました。さらには、紙おむつ向け製品も仮需の反動がみられ、これらの販売数量が計画を下回りました。以上のことから、売上収益は、2020年8月4日の業績予想値（以下、前回予想値）に対し、60億円減収の1,240億円の見込みです。

利益面につきましては、販売費および一般管理費は減少するものの、原料価格が想定よりも上昇することによりスプレッドが悪化すること、販売数量が計画を下回ることにより、減益となる見込みです。加えて、高吸水性樹脂市場において、中長期的に需給バランスが改善していくという見方に変わりはないものの、当社の連結子会社であるNIPPON SHOKUBAI EUROPE N.V.（以下、NSE）が所在する欧州においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって一時的に需要減がみられ、紙おむつメーカー間の競争も激化しております。NSEを含む高吸水性樹脂メーカーへの値下げ圧力も増してきており、事業環境は非常に厳しい状況が想定以上に続いております。このため、NSEの今後の損益見直しを見直し、固定資産に対する将来の回収可能性を検討した結果、2021年3月期第2四半期会計期間において、約20億円を減損損失として計上する見込みとなりました。以上のことから、営業利益は前回予想値に対し、33億円減益の△18億円となる見込みです。

また、税引前利益は△5億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は△15億円となる見込みです。

2021年3月期通期連結業績予想に関して、売上収益は、下半期会計期間にて段階的な回復を見込んでおりましたが、上半期会計期間の状況を踏まえ販売見直しを見直した結果、前回予想値に対し100億円減収の2,600億円となる見込みです。

利益面につきましては、需要の回復遅れなどによる販売数量の下振れ、スプレッドの悪化、さらには、第2四半期会計期間に計上する見込みである減損損失などにより、営業利益は前回予想値に対し、60億円減益の10億円となる見込みです。

税引前利益は35億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は10億円となる見込みです。

2021年3月期第2四半期累計および通期の個別業績予想の修正理由につきましては、NSEの減損損失を除き連結業績予想の修正理由と概ね同様です。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上